

クレアル株式会社、柔軟な働き方を推進するテレワーク制度を強化

クレアル株式会社（本社：東京都、代表取締役：渡辺順子）は、働き方改革の一環として、柔軟な勤務環境とワークライフバランスの向上を目的に、テレワーク制度を強化することをお知らせいたします。

テレワークの取り組み概要

当社では、週3日以上テレワークが可能な社員の7割以上がテレワークを実施することを目指し、働き方の多様化に対応した柔軟な勤務制度を導入しています。これにより、生産性の向上と業務効率化を実現することを狙っています。

課題への対応策

テレワークの導入に伴い、チーム間のコミュニケーション不足や社員の孤立感の増加といった課題が見受けられました。これらの課題に対して、当社ではリモートツールの活用を強化するとともに、定期的なオンラインミーティングを実施し、社員同士の連携を促進しています。

柔軟な労働時間制度「中抜け制度」の導入

さらに、当社は社員のライフスタイルに合わせた柔軟な働き方を実現するために、「中抜け制度」を採用しました。この制度により、業務中に適切な休憩や私用を挟むことが可能となり、社員一人ひとりの生活に寄り添った働き方を支援しています。

社内の声

実際にテレワークを活用している社員からは、以下のような声が寄せられています。

「移動時間がなくなったことで、気持ちにゆとりが生まれ、仕事の効率が上がりました。月3~4回の対面ミーティングに集中できるため、むしろ生産性が向上しています。」

「化粧や着替えに悩むこともなく、自分のペースで仕事ができるようになり、気持ちに余裕が生まれました。この余裕が仕事の精度にもつながっていると感じています。」

「子供の通院に『中抜け制度』を活用し、比較的待ち時間の少ない時間帯に通院できるようになりました。」

今後の展望

クレアル株式会社は、今後も持続可能な働き方を追求し、テレワークに関するルールや制度の改善を続けてまいります。これからも社員が働きやすい環境を提供し、より一層の生産性向上を目指してまいります。